

「全国学力・学習状況調査」の結果の概要と今後の方策

本年度、中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果の概要と指導改善のポイントをまとめましたので、ご報告いたします。

今後も引き続き、お子様の学習習慣や学力の定着に向けて取り組んでいきます。また、ご家庭でもお子様の学習習慣や生活習慣の確立に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆学力調査の結果の概要と指導改善のポイント☆

○・・・よくできている点 ●・・・課題がみられる点 →・・・指導改善のポイント

国語科

- 事象や行為、心情を表す語句について理解している〈語句：落胆する〉。
- 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる。
- 古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができる。
- 文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。
- 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。

数学科

- 数と整式の乗法の計算ができる。
- 累積度数の意味を理解している。
- 四分位範囲の意味を理解している。
- 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されていることを理解している。
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- 条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができる。

英語科

- 情報を正確に聞き取ることができる。
- 情報を正確に読み取ることができる。
- 日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができる。
- 日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
- 未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる。
- 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができる。
- 授業では「めあて」を提示して、この時間で何を学ぶのかを明確にします。
- 練習問題やまとめ、話し合いなどを通して学んだことを、定着させる時間を設定します。その際、単元テストや小テストなどを実施し、学びの定着を図ります。
- 振り返り活動を行い、自身の認知度や変化を自覚させます。また、スモールステップを取り入れながら生徒の実態に合わせた授業展開を進めていきます。

生活習慣や学習環境について

- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由であってもいけないことだと思う。
- 人の役に立つ人間になりたい。
- 学校の図書室や地域の図書館によく行っている。
- 今、住んでいる地域の行事に参加している。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたい。
- 地域全体で生徒と関わっていただけているため、生徒は地域の一員としての自覚をもって成長することができています。また、心優しい生徒が多いことが分かります。
- 学校の授業時間以外に、1日当たり勉強をする時間が短い。
- 定期的に宿題を出すなど、生徒が家庭で学ぶ習慣を身に付ける取組を今後も継続して行っています。ご家庭とも連携しながら、より一層指導を進めていきます。